



株式会社 ケン・マツウラレーシングサービス
〒799-24 愛媛県北条市土手内114-11 TEL(0899)92-0706
ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県静岡市新貝2500 TEL(05383)2-1111

国内 F - 2 レースの参加について

(ニューレーシングエンジン・ヤマハ OX 66 を開発)

昭和 59年 12月 6日

(株) ケン・マツウラレーシングサービス
ヤマハ発動機株式会社

国内 F - 2 レースの参加について

レーシングエンジンのチューンナップ専門会社である(株)ケン・マツウラレーシングサービス(愛媛県北条市)は、ヤマハ発動機(株)が新しく開発した四輪用レーシングエンジン『YAMAHA OX66』の提供協力を受け、国内四輪レースの最高峰とされるJAF・F-2レースに来年度から参加(エンジン供給)していくことになりました。

この『YAMAHA OX66』は、一般市販を考慮して開発されたレーシングエンジンで、V型6気筒1995cc、DOHCに最新のエンジン技術である5バルブ機構、そして燃料供給にEFI(電子制御燃料噴射)を採用、最高出力はエンジン回転数11000回転で330馬力以上と、軽量・コンパクトでシンプルな構造の、バランスの優れた高性能エンジンです。

(株)ケン・マツウラレーシングサービスは、長年に渡るF-2レースの経験と独自のノウハウを活かし、この『YAMAHA OX66』エンジンの有する高いポテンシャルを引き出す役目を受け持っております。また、85年度は限定したチームによってそのポテンシャルを確かめ、86年度より(株)ケン・マツウラレーシングサービスを窓口として希望するチームに販売する予定です。

なお、来年3月上旬、鈴鹿サーキットで開催される'85JAF F-2レース第一戦を、このニューレーシングエンジンの緒戦とし、シリーズ全レースへの出場を予定しております。

レーシングドライバー、搭載マシンなど参加チームの詳細概要は後日、決定次第お知らせ致します。

『YAMAHA OX66』について

□ 開発コンセプト

この新しい四輪用レーシングエンジン『YAMAHA OX66』は、ヤマハ発動機が長年にわたって培ってきたエンジン技術を活かして開発したもので、高速、高出力をテーマに、ノンターボでしかも高いレベルでバランスのよいエンジンを追求するという考え方を基本としています。

□ エンジンの概要と特長

『YAMAHA OX66』は

1. バランスのよい高性能の実現
2. 市販を考慮したイージーメンテナンス設計
3. 小型・コンパクト・軽量化の徹底追求
4. 扱いやすさを高める広いパワーバンド

にポイントを置いて設計したレーシングエンジンで、高回転、高出力、扱い易さの調和をハイレベルで実現しています。

● ボア・ストローク比 0.688 の高速回転に適した超ショートストローク型の V 型 6 気筒で、シリンダー V アングルはエンジン幅がスリムで高さも低くおさえられる独自の 75 度に設定し、小型・コンパクト化を達成しています。また、当初より市販を前提として開発をすすめてきたことから、整備性の向上に重点をおき、合理的な設計に徹したシンプルな構成として軽量化をはかっています。

● 高速・高出力化をひきだす新技術として、DOHC を採用するバルブ駆動系にはヤマハオリジナルの 5 バルブ（気筒当たり吸気 3 バ

ルブ、排気2バルブ)方式を織り込み、燃料系は新開発の電子制御式燃料噴射方式として、許容最大回転数13,000rpmにおよぶ高速回転を可能としています。

- 最高出力は330ps以上/11,000rpm、最大トルクは23Kg-m/9,000rpm、フレキシブルで幅広いパワーバンドを備えており最高出力の1/2に回転をおとしてもなお有効な出力を得ています。

『ヤマハOX66』主要諸元

シリンダー配置	75° V型6気筒
総排気量	1995 CC
ボア×ストローク	85.0 7 mm × 58.5 mm
ボアストローク比	0.688
圧縮比	12.0 : 1
最高出力	330 ps 以上 / 11,000 rpm
最大トルク	23 Kg-m 以上 / 9,000 rpm
許容回転数	13,000 rpm
バルブ配置	5バルブ / 1気筒
カム駆動方式	プライマリギア / セカンダリタイミングベルト
シリンダブロック	Aℓ 鋳造、鋳鉄ウェットライナー
燃料系	電子制御燃料噴射
点火系	電子制御C D I
重量 (ドライ)	105 Kg
寸法	L : 約420 mm W : 約550 mm